

英語科 学力調査から授業改善へ

1 学力調査の推移

(1) 現1学年 本校 (全国平均)

観 点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解

(2) 現2学年 本校 (全国平均)

観 点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
H24年 7月 学力調査	74.1% (61.4%)	42.9% (38.4%)	55.4% (49.7%)	73.6% (69.5%)
H23年 5月 学力調査 *				

*H23年5月の調査時点では、入学直後で英語の学習活動を行っていないため、調査していない。

(3) 現3学年 本校 (全国平均)

観 点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
H24年 6月 区学力調査	74.9% (64.4%)	61.1% (52.4%)	81.7% (70.9%)	69.0% (59.0%)
H23年 5月 学力調査	83.1% (69.7%)	73.3% (56.9%)	87.5% (78.0%)	79.6% (70.0%)
H22年 6月 学力調査 *				

*H22年6月の調査時点では、入学直後で英語の学習活動を行っていないため、調査していない。

2 結果分析と考察・課題

(1) 第2学年

- ① 4つの観点において、期待正答率を上回る結果となった。特に「関心・意欲・態度」に関しては、都の平均に比べ大きく上回っている。
- ② 「表現の能力」の観点に関しては数字上は期待正答率を上回っているものの、他と比較すると、今後の課題が内在している結果となった。

(2) 第3学年

- ①
- ②

3 課題解決のための手だて

(1) 第2学年

- ① 英文を書く意欲はもっている生徒が多いので、彼らの関心・意欲を生かして授業を続けていく。その中で、彼らが間違えた部分を丁寧に直し、正確な表現に近づけていくようこまめに指導していく。
- ② まとまった文を読んで要点を答える問題や、まとまった英文を聞いて答える問題など、正答率が低くなる傾向があるので、単文の理解からまとまった文の理解へと発展させていくことを意識する。

(2) 第3学年

- ①
- ②